

沖縄県商工労働部情報産業振興課の公の施設に係る指定管理者制度運用委員会
令和4年度第1回指定管理者制度運用委員会
議事録

- 1 開催日時：令和4年7月21日（木）10:00～10:35
- 2 開催場所：沖縄IT津梁パーク 中核機能支援施設第1・第2会議室
- 3 委員出席状況：委員5名中3名出席
（委員長）国立大学法人琉球大学工学部 教授 名嘉村盛和
（委員）一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会 顧問 西里喜明
（委員）株式会社ベリサーブ沖縄テストセンター 事業推進部長 小川慶
（委員）沖縄県中小企業家同友会 理事 仲間高乃（※欠席）
（委員）株式会社サンバンド 情報戦略部長 木村公子（※欠席）

- 4 検証事項：令和3年度沖縄情報通信センターの指定管理状況に係る
モニタリングの実施結果

5 検証内容

- (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適正になされているか。
- (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
- (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。

6 検証概要

(1) 検証方法

沖縄県（情報産業振興課）によるモニタリングの実施結果を報告後、質疑応答（各委員からの質疑等に対し事務局が回答）を実施し、各項目について検証した。

(2) 検証結果

指定管理者自己評価及び県が実施したモニタリングについて検証した結果、沖縄情報通信センターの管理運営は、成果指標、財務指標、活動指標の各項目で特段問題は無く、概ね適切であると評価できる。

(3) 主な質疑

（委員） リモートでの施設見学について、（要望があれば）すぐに対応可能な状況なのか。IT専門の施設なので、できれば対応を検討した方がよい。

（事務局） コロナ禍で対面による施設見学が難しい事態を想定し、リモートでの施設見学の対応を指定管理者と検討したが、これまでのところ対面による施設見学の要望はない。また、リモートでの施設見学を行うにはWi-Fi環境や機器の整備が必要であることから、今後、要望があれば検討していきたい。

(委員) 駐車場の要望があるが、現状では増やせないということになっていて、それは仕方が無いことだと思うが、不公平感が解消し辛いという問題がある。それは当初の割当てが理由となっている様だが、その理由について詳細な説明をいただきたい。

(事務局) (駐車場割当てについては、原則、入居企業が借りている事務所面積に応じて割当てが決まっているが、) 一部の入居企業において、誘致の際に事務所面積に応じた割当てを超える条件で入居して頂いており、それが不公平感の理由になっている。

駐車場不足分については、指定管理者と入居企業間で調整し空室区画用の駐車場を一時的に割り当てている状況であるが、令和元年度に駐車場を拡張済みであり、これ以上の拡張は物理的に難しい。

ただ、現場を確認したところ、シフト制の職員の入れ替えのタイミングが重なった際に一時的に不足している状況が見受けられた。

現在は一人一人指定された場所に駐車するようになっているが、例えば(一人一人指定した駐車場を設けず)共有のスペースを設けてシフト時間帯等の一時的な不足状況に対応できる様な運用を含め、県と指定管理者で検討しているところである。

(委員) 現在ビジネス棟に空きがあるが、そこに新規で企業が入居した場合、更に駐車場の不足が出るのではないか。それとも、新しく入居する企業については既に駐車場を確保しているのか。

(事務局) 空室区画の駐車場は確保しているが、現状、駐車場が不足しているため、一時的に不足している入居企業に割り当てており、新規で企業が入居した場合は駐車場を空けていただくことになる。

ただ、全区画の入居が埋まったとしても、先程ご説明した共有スペースの活用などの運用によりカバーできると考えている。

(委員) 入居率(80%)について、2棟の平均値((100%+60%)/2)で評価しているが、これは妥当なのか。単に部屋数で数えるのであれば1/1と3/5で4/6となるのではないか。

ただ、そう計算して評価すると指定管理者の評価としては厳しいものになる。

(事務局) ご指摘の通り、単に区画数で数えるのであれば4/6である。使用面積が全く異なることもあり、面積比率で計算するともっと高い入居率が出る。一方で、この2つの棟は全く性質が異なる建物となっていることから現状ではこのような計算方法となっている。

今後は計算方法について検討させて頂きたいと思う。

(委員) 2. 評価結果の④重点取組事項などの評価基準について説明して欲

しい。

- (事務局) 評価基準（S～C）は、県全体で共通している。この指標は県全体の指標なので、当課独自で指標を変えることは出来ない。
例えば博物館・美術館などであれば目標来館者数を上回った場合などは④重点取組事項の評価がSとなるケースが想定されるが、沖縄情報通信センターの特性上、「データセンターとして常時稼働し、その機能を維持した」ということが重点取組事項になっているのでSになることは想定されない。
- (委員) ③財務状況もどんなに頑張ってもAにしかならないということは、①利用状況と②満足度でしか総合評価を変えられない。
コロナ渦で退去企業が出れば①利用状況がCになる事も想定され、総合評価もCになりかねない。
- (委員) 評価基準だが、B以上であれば概ね合格のラインかと考えていたが、例えば④重点取組事項のBは「目標を下回る」となっており評価基準によってABCの割り当て方の整合性がとれていないように見える。
- (事務局) 当委員会が出た評価基準に関する意見について、所管している県の部署へ報告させて頂きたいと思う。
- (委員) 経年劣化の件だが、他の施設同様、当施設も事前の対策を行う必要があると考えるがいかがか。
- (事務局) 修繕計画に基づき修繕を実施しているが、当初計画よりもかなり早い段階で修繕が必要となるケースが他の施設で見受けられるため、これらの知見を踏まえ、計画の見直しを含め対応していく必要があると考える。